

# 大相撲夏巡業 佐渡場所

を観戦される皆さまへ



開催日 8月5日(土)

会場 サンテラ佐渡スーパーアリーナ



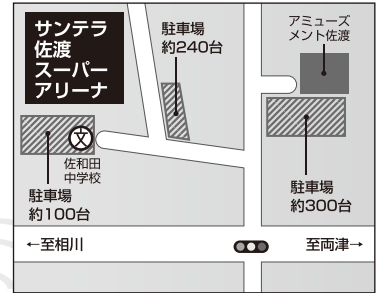
会場近くの駐車場は狭く台数に限りがあります



## 無料送迎バス・公共交通機関の利用をおすすめします

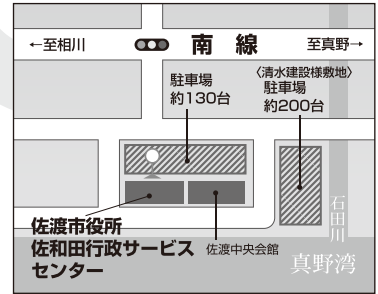
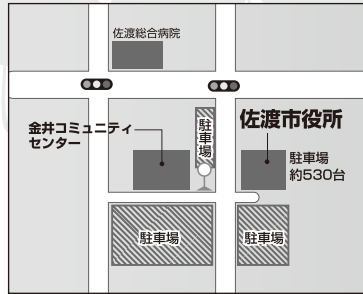
- 当日は、大変混雑が予想されます。また、会場近くの駐車場は狭く台数に限りがあります。できるだけ市役所（本庁、佐和田行政サービスセンター）発着の無料送迎バス（始発午前7時以降随時運行）または、公共交通機関を利用されるようご協力をお願いします。
- 近隣の店舗・事業者などの駐車場へ無断駐車または、路上駐車はしないでください。

夏巡業佐渡場所特製弁当を予約販売しています。1個1,600円（お茶付）



### お問い合わせ

大相撲夏巡業佐渡場所実行委員会事務局  
市教育委員会社会教育課 社会体育係  
（サンテラ佐渡スーパーアリーナ内）  
☎ 67-7645  
（平日 午前8時30分～午後5時30分）



## 大相撲ふもやま話

佐渡ヶ嶽部屋は佐渡にゆかりがあった

佐渡ヶ嶽部屋は、全相撲部屋の中でも有数の大きな部屋であり多くの力士を擁しています。また、幾多の名力士を輩出してきた名門部屋の一つです。その佐渡ヶ嶽部屋が佐渡にゆかりがあることをご存知でしょうか。

〈佐渡出身力士の四股名が部屋名に〉

両津夷町の漁師、佐藤長兵衛の家に生まれた猪之助は、幼少の頃より怪力の持ち主で、数々の怪力伝が残されています。

故あって江戸で力士となり、寛保から寛延年間にかけてを全盛期として活躍したと伝えられています。

当時、江戸相撲は始まりの頃で、年寄・部屋制度も整わず、江戸の縦番付が初めて発行されたのも猪之助没後二年目の宝暦七年（一七五七年）のことです。

早くから部屋初代ではないかといわれ、別冊相撲夏季号（昭和五二年六月刊）に「初代佐渡ヶ嶽は佐渡国両津出身の力士で、江戸集団相撲の草創期に基礎を作った功労者の一人であるが、部屋を持った年寄ではなかったようだ。しかし、出身地から名跡を作ったことは確かである。」と書かれています。

また、嘉永元年（一八四八）五月に、相川の春日神社境内で半月間にわたって江戸大相撲興行が行なわれましたが、この時の勧進元であった佐渡ヶ嶽五代目沢右衛門は、その来島理由を初代の郷国でもあるからと言っていたとも伝えられています。

猪之助の勇姿が見られる唯一の絵像も残っています。化政期頃の佐渡先哲仙

菴圖（佐渡奉行所抱え絵師、石井文海筆）の中に、その頃の著名人二十人の中の一人として描かれています。

その猪之助没後三百年を記念して、「佐渡ヶ嶽猪之助展」が開催されていますので、この機会にご覧になつてはいかがでしょうか。

うか。（資料提供 安照寺）

「佐渡ヶ嶽猪之助展」【入場無料】

期間 8月31日(木)まで

会場 安照寺(春日175番地)

お問い合わせ 安照寺 ☎ 27-2673



佐渡ヶ嶽猪之助 絵像  
(佐渡先哲仙菴圖)